

第3章 最終評価に向けて

1. 新たな指標項目

基本目標「食で守る」の③健康づくりの推進に新たな指標「減塩に心がけている人の割合」を追加します。

追加の背景として、県民健康意識行動調査*から判明した豊後大野市の健康課題である「過剰な塩分摂取量」の課題解決のために、平成29年度から豊後大野市では「あけあじ減る塩大作戦」*に取り組んでいます。

新たな指標項目とすることで、「あけあじ減る塩大作戦」の推進状況を確認します。

③健康づくりの推進

取組	○「朝ごはんを食べる」「減塩」を推進し、子どもの頃から望ましい食習慣を身に付けられるよう、生涯にわたる一貫した食育*を進めていきます。
----	---

(指標項目①) 減塩に心がけている人の割合

1) 目標値と現状値

「減塩に心がけている人の割合」は53.9%だった。

指標項目	策定時	中間評価時	最終目標値
「減塩に心がけている人」の割合	25年度 (2013年度)	30年度 (2018年度)	35年度 (2023年度)
	-	53.9%	60.0%

*指標数値：成人アンケート

最終目標値は、豊後大野市第2次健康づくり計画と統一。

2) あけあじ減る塩大作戦*を中心としたこれまでの取組

事業・取組	内容	関係課・ 主な関係機関等
減塩グッズを活用した啓発 (H29年度～)	乳幼児保護者の対象者には味噌マドラー、壮年期・高齢期にはプッシュ式醤油さしを活用した保健指導の実施。 H29年度からはこども園・保育園保護者（園行事の際、健康教室を実施）、H30年度からは事業所職員（事業所朝礼や研修の際、健康教室を実施）を対象に、講話と併せて味噌マドラーを配付。	健康推進室
市民公開講座や健康セミナーの開催 (H29年度～)	減塩や肥満予防等について講話を実施。	健康推進室
「減る塩」を啓発するポロシャツと幟旗 (H30年度～)	「減る塩」を啓発するポロシャツと幟旗を健康教室や健診、各種イベントやキャンペーン時に着用。	健康推進室
「めんスープ残します」カードの設置 (H30年度～)	市内飲食店の卓上に置く「めんスープ残します」カードの設置を依頼し、スープを残す習慣づくりの定着を図る（11店舗設置済み）。	健康推進室
カップ麺ふたおさえの配付と活用 (H30年度～)	庁舎内の給湯室に、カップ麺のふたおさえの設置と減塩に関する情報提供を行い、職員にスープを残す習慣づくりの定着を図る。	健康推進室
健康手帳の活用	18歳以上の市民（集団健診・がん検診受診者）や減塩グッズ配布者を対象に、減塩・肥満予防等普及啓発資料の配布。	健康推進室
「減る脂～DASH食」のレシピを開発 (H30年度)	健康寿命に大きく関与する高血圧症の予防効果があるとされる「DASH食」*を豊後大野市版に改変した「減る脂～DASH食」のレシピの開発・普及。	豊肥保健所

3) 今後の取組の方向性

- ・「減塩に心がけている人」の割合は増加しているので、現在の取り組みを継続する。
- ・こども園、保育園保護者を対象とした健康教室は、平成31年度を目標に市内全園で実施する。
- ・事業所職員を対象とした健康教室は、豊肥保健所と連携して、今後も継続する。
- ・平成31年度からは、市内小・中学校PTA保護者を対象とした健康教室を実施する。

事業所等での講話



こども園・保育園保護者対象教室と
味噌マドラーの配布



減る塩ポロシャツの活用



めんスープ残しますカードの活用



食育キャンペーンを活用した「あけあじ減る塩大作戦」*の実施



「減塩をこころがけた食事をしていますか」(30年度)

